

## 自己評価及び外部評価結果

## 1. 事業所概要

事業所番号	1470201177	実施年度	令和5年度	
法人名	メディカル・ケア・サービス株式会社			
事業所名	愛の家グループホーム横浜菅田 2Fあじさいユニット			
所在地	( 221-0864 ) 横浜市神奈川区菅田町 2975-75			
サービス種別	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	定員 18	計 18 名	
	<input checked="" type="checkbox"/> 介護予防認知症対応型共同生活介護	ユニット数	2	
自己評価作成日	2023年9月8日	評価結果	市町村受理日	

## 2. 運営推進会議開催日時・場所

日時	R5年11月18日 15時 ~ 16時	場所	1Fフロア
----	---------------------	----	-------

## 3. 運営推進会議メンバー

区分	委員分野・主な役職等	人数
委員	利用者又は利用者の家族	18人
	地域住民の代表者	2人
	当該サービスに知見を有する者	2人
	市の職員又は地域包括支援センターの職員	1人
事務局	管理者	1人
	計画作成担当者	1人
	介護従業者	2人

## 4. 事業所の特徴

2005年5月オープンの18年のグループホームです。認知症ケアに特化したホームとして常に新しい事に挑戦しながら入居者様にとって最善のケアに取り組んでいます。3年前からは「ミニジムコーナー」を設け、サイクルマシン等を導入し生活機能向上に力を入れています。その事例報告がエリアで1位を頂き、全国大会にて発表の機会を頂く等、入居者様の身体機能の向上に結果が出ています。良いホーム運営ができていると思います。スタッフの定着率も良く、お客様満足度、スタッフ満足度も毎年上位を頂いています。

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

№	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
<b>1 理念・安心と安全に基づく運営</b>							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意識をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	① 十分にできている B. ほほどできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「どこよりも入居したくなるホームを目指します」のホーム理念は変わらず理念が浸透しており、実践に向けて出来る事も理解できている。	入居前の老健、サ高住、デイサービス等のケアマネジャー様に入居者様をお連れしご挨拶に伺う等、上手く付き合いはできていると思う。		
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている ① ほほどできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍により自粛していた地域活動を少しずつ再開している。入居者様をお連れしての営業活動は、入居前にお世話になった地域包括や老健等を訪問しご挨拶している。	運営報告を行い、日常の様子をプロジェクターで放映するなど面会以外のご様子可知れるのは嬉しいとのことあり。行致からも直接の助言が頂ける。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている ① ほほどできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍では、文書での報告を当初行っていたが、リモート会議に移行して実施していた。5類になった為、7月から対面開催としている。欠席の方にも書面報告を継続している。	運営報告を行い、日常の様子をプロジェクターで放映するなど面会以外のご様子可知れるのは嬉しいとのことあり。行致からも直接の助言が頂ける。		
4	市町村との連携	市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている ① ほほどできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営上不明点は「高齢者事業支援課」へ連絡し助言頂いている。また地域包括とも入居者様に関する連携を取り後見人制度について協力関係にある。	自治会長より「我々も、色々な施設を回る必要があるが、それぞれの施設が何を要望しているかは分からないので言っただけというご意見を頂いた。常に情報交換が必要である。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、互いの施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	① 十分にできている B. ほほどできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に1回(3月)全職員に「高齢者虐待及び身体拘束について」の研修を行い、それとは別に年に4回「虐待、身体拘束に関する研修」を行い何が身体拘束に当たるか周知している。	① 十分にできている B. ほほどできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	スタッフへのストレスチェックも頻繁にやっていますが、解判方法は各々のスタッフによる。面談回数を増やしたり、傾聴する事も実施している。認知症理解に力を入れる。人生の先輩として敬う気持ちをお忘れなない。	スタッフが当たり、何が虐待に当たるかを先ず理解する事が必要であるため、定期的に忘れない様に研修を実施していると聞いている。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃さざれることがないよう注意を払い、防止に努めている	① 十分にできている B. ほほどできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に1回(3月)全職員に「高齢者虐待及び身体拘束について」の研修を行い虐待に繋がらない様、認知症理解とスタッフのメンタルサポートも行ってはいる。			
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	① 十分にできている B. ほほどできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	成年後見人については3名の方が居られ、どの様な方に後見人制度が必要かを学んでいる。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<p>①. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	契約時のみならず、契約前や契約後にも親切丁寧な説明を心がけ少しでも不明点、不安があればすぐに確認の連絡を頂き回答させて頂いている			
9	運営に関する利用者・家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<p>A. 十分にできている</p> <p>③. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	管理者、ケアマネジャー、介護職員、事務職員が、ご利用者様、ご家族様の声、時にはご利用者様の声にならない声(想い)をくみ取り、ケアプランに反映できるように支援している。又ご家族様に横浜市や神奈川県にも相談窓口がある事をお伝えしている			運営推進会議での意見交換は多い方であると思う。ケアマネジャーによるケアプランの説明時にご家族のご意向や要望や意見は言いやすい状況ではあると思う。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の見解や提案を聞く機会を設け、反映させている	<p>②. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	職員の面談を3ヶ月毎に実施しており意見提案等を聞く機会は多くある。面談以外にも意見交換の場は多く、提案に関しては早くに形にしている			退職者が少ないほうであることから職場環境は良い方ではないかと思われる。管理者は職員個々の努力や勤務状況は把握できているがやりがいや職場環境の整備にも努めているが給与面での退職は数少ない。
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<p>A. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>④. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	キヤリアパス制度を導入し、スキルと給与を明確化している。必要な残業手当を付けているが給与水準に関しては水準より低いと感じるスタッフは多い。今期2名の退職者は給与面が原因であった。			
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会を確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<p>A. 十分にできている</p> <p>⑤. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	社内研修やOJTに力を入れておりOJT担当の研修もある。資格支援制度では社内。ラーニングを実施。今期2名の介護福祉士合格者あり。			OJT歴年については、本社、教育研修課による1ヶ月研修を1日掛けて実施している。法人内の研修はかきり多い。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワーキングや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<p>A. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>⑥. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	コロナ禍にて不参加していた会合や勉強会については徐々に再開していく方向にて2件の訪問を実施した。電話での情報交換が主な現状。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<p>②. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	ご入居者様の「できること」に着目し、職員とご入居者様が協力し、ケアプランでの生活を支援している。(調理補助や掃除、居室整備等)			

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍では面会を自粛して頂いていたが一部解除している。馴染みの場所については今後、ご家族との外出外泊等も徐々に支援して行きたい。	昨年までと違い、自身が徐々に解除され、面会が出来るようになった。馴染みの場所や人にも少しずつ支援して行きたい。		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	積極的な意向についてはよく把握ができ支援している。消極的な意向についても把握できているが体力、機能低下予防に目を向けて頂く様にも支援したいと思う。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	より良く過ごすための十分な課題分析の時間を取っている。生活機能向上に関しては理学療法士の専門的な助言から介護計画が作成出来る。アイデアを反映したミニトリーニングプログラムも開設した。	生活機能向上に関しては理学療法士の専門的な助言から介護計画が作成出来る。アイデアを反映したミニトリーニングプログラムも開設した。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践、結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々のケアを通してプログラムの実施が積極的に行われている為、気付きや工夫の精度が高く、情報共有も積極的に実施されている。	不穏な方、外出を強く希望される方、ご家族対応の外泊受診の対応が困難な方等の外出支援を出来る範囲で実施している。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	きめ細かいケアをやって下さって有難いというご意見を多く頂きチームとしてもスタッフ各々が励まされ、更なる意を頂いている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域資源の活用は医療関係との協働が主であった。他の支援はコロナ禍もあり消極的であったが今後の課題とし、ご本人の心身の力が発揮できるものを探して行く努力をする。	コロナも第5類となり、地域資源の活用にも積極的になりつつある。自治会の活動も活発になり、多くの連携を取って行きたい。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様の日常の体調を十分に把握した上で適切な診断と処方をして頂いている。急変時の助言や指示も24時間頂けるので頼りになる			
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない				



28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と一緒に準備や食事、片付けをして職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	<p>② 十分にできている</p> <p>B. ほほできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	食事の準備や片付け洗い物ができている方には積極的に手伝って頂いている。野菜の皮むきは常時お願いしている。肉が苦手等の好みも魚に替える等の配慮もさせて頂いている。完食される方が多く、楽しまれている。	<p>② 十分にできている</p> <p>B. ほほできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	調理スタッフによる調理を毎日継続している。食事の良いおいが充満して食欲をそそっている。配膳準備や下ごしらえ等の手伝いも行っている。高齢化し嚥下機能の低下や薬物の不具合等があった場合はきざみやミキサーで対応している。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<p>② 十分にできている</p> <p>B. ほほできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	自立支援の取り組み強化により水分と食事摂取量が増加した。たんぱく質の重要性に目を向けプロテインも提供している。	<p>② 十分にできている</p> <p>B. ほほできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	毎食後の口腔ケアを介助している。嚥下残し等の介助も実施している。一部拒まれる方の支援が不十分な点は、歯科医による口腔ケアを依頼している。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<p>A. 十分にできている</p> <p>③ ほほできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	自立支援ケアを導入により牛乳摂取量を増やし下剤の減量となった。排泄のバターンを掴み尿失禁の減少につながった方も居られる。	<p>② 十分にできている</p> <p>B. ほほできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	嚥下自分の嚥が弱くなって来た方には、嚥下フワンは難しい為、スポンジや取り回し易いものにて対応している。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のバターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<p>A. 十分にできている</p> <p>B. ほほできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	ご自宅の様にお好きな時間に入って頂きたいが共同生活上では入浴回数が均等になる様に基本的な日程は決めさせて頂いているが入浴料やゆず湯等で楽しんで頂いている。	<p>A. 十分にできている</p> <p>③ ほほできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	電子記録の排泄のアイコンから個々の排泄時間や便の状態等の把握ができている。直近の排泄時間もわかる為誘導し、失禁を回避している。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に合わせた支援をしている	<p>A. 十分にできている</p> <p>B. ほほできている</p> <p>③ あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	ご希望の方には、日中、居室で休まれたりTV鑑賞をして頂いている。夜間巡回時には近くに居る事を伝え安心して頂き、程よい空調で安眠できる様支援している。	<p>② 十分にできている</p> <p>B. ほほできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	命を預かる者として入居者様の処方内容は職員全員が把握できる様往診記録に詳細を記録し薬情も確認しながら服薬時にはWチェックした後、服用して頂いている。
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<p>② 十分にできている</p> <p>B. ほほできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	命を預かる者として入居者様の処方内容は職員全員が把握できる様往診記録に詳細を記録し薬情も確認しながら服薬時にはWチェックした後、服用して頂いている。	<p>② 十分にできている</p> <p>B. ほほできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	命を預かる者として入居者様の処方内容は職員全員が把握できる様往診記録に詳細を記録し薬情も確認しながら服薬時にはWチェックした後、服用して頂いている。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<p>② 十分にできている</p> <p>B. ほほできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	命を預かる者として入居者様の処方内容は職員全員が把握できる様往診記録に詳細を記録し薬情も確認しながら服薬時にはWチェックした後、服用して頂いている。	<p>② 十分にできている</p> <p>B. ほほできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	急変や少しの異常等が見られたら、直ぐに医療機関に報告、相談し早急に服薬できる様、対応はできている。



41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 十分にできている B.  ほぼできている C. あまりできていない D.  ほとんどできていない	ご友人、ご家族等の対面での面会が緩和されており支援している。ご本人の習慣や特徴等は把握し、出来る範囲で支援に努めている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	④. 十分にできている B.  ほぼできている C. あまりできていない D.  ほとんどできていない	健康観察に注力している。体調変化がある場合は早期に医療機関へ相談している。転倒予防の為に居室環境シニアウトを随時見直ししている。散歩の習慣のあった方には雨天以外、出来るだけお連れしている。屋外の習慣のあった方には昼夜逆転にならない様、時間を決めて休んで頂いている			
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	④. 十分にできている B.  ほぼできている C. あまりできていない D.  ほとんどできていない	自宅から持参された人形や写真、仏壇等、お持ちになつている。基本的に貴重品や高価な物以外の禁止はしていない。ご本人にとって大切なものは身近に置く様にしてはいる。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができる	④. 十分にできている B.  ほぼできている C. あまりできていない D.  ほとんどできていない	外出が制限されていたが法事やご親族の結婚式には十分に防疫のご協力を頂いた上で参加して頂いた。			
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	④. 十分にできている B.  ほぼできている C. あまりできていない D.  ほとんどできていない	その方に合った達成できる役割を構成し提供している。自身の役割や楽しみをケアプランに入れ実践している。職員からの感謝や励ましの効果は大きい為積極的に感謝をお伝えするようになっている。			
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	④. 十分にできている B.  ほぼできている C. あまりできていない D.  ほとんどできていない	冠婚葬祭へのご参加は、コロナ禍に於いても防疫をしっかりと履いた上で参加できて良かった、とのご意見あり。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場を日々の中から得ることができる	④. 十分にできている B.  ほぼできている C. あまりできていない D.  ほとんどできていない	毎日の、慣れたことな安心して笑って過ごして頂ける様、スタッフが会話の橋渡しや楽しめる会話になるよう努めている。 自由にご自身のやりたいことや得意なことを表現できる様支援できている。			



48	<p>本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている</p>	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている ③. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>コロナ禍により外出が制限されており、外での活動は今年も出来ていなかった。</p>	<p>近隣や地域の方と関わられる様な場面を作ることが困難であると感じているが、今後はオンライン等が企画する催事にも積極的に参加して頂きたい。</p>	/	/
49	<p>本人は、このGHJにいてことで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている</p>	<p>④. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>コロナ禍により対面での地域交流を行っていないが職員とは親しい関係性を築き安心して下さる面も感じている。帰宅願望が全くなかった方もおられ、機能訓練により身体機能の維持または向上された方も居られる。職員との関係は良いと思う。</p>	<p>地域の方々との関わりは少ないが健康面、身体機能向上、精神的安定等を総合的に考えるとホームに入居して明らかに、表情が生き生きしてきたことや転倒がなくなったことから良い毎日が選れていると思っている。とのご意見を頂いた。</p>	<p>④. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>今回のアンケートも「感謝している」「入居して良くなった等の嬉しいお言葉を頂いた。また、「外出支援」カを入れてほしい」</p>

別添3

目標達成計画

事業所名 愛の家グループホーム横浜菅田

作成日 2024年 1月 10日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		コロナ禍により、イベントや外出を自粛していたが「五類になったのもっと増やして欲しい」ご意見に応じて行く。	防疫をしっかりと行いながら積極的に計画する。 コロナ前に行っていたイベント以外にも挑戦する。	毎日の散歩や日光浴は従来通り支援。 月毎に季節のイベントや花見、外食、農園、アミューズメントパーク施設に出向く。	1年
2		「面会の場所が限られている。居室で面会したい」とのご意見も多く頂いた。	居室での面会を開放。 スタッフ始め、ご家族様の防疫と健康管理をお願いします。	・ホーム内の消毒の継続と徹底。 スタッフ始め、ご家族様の玄関でのバイタルチェックとうがい手洗いの充実。	1年
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

収受番号: 382

## サービス評価結果提出届 (兼受理書)

健康福祉局介護事業指導課 御中

(太枠内のみ記入してください。)

提出日: R 6 年 2 月 8 日

届出者	サービス種別 (該当に○)	○	認知症対応型共同生活介護				○	介護予防 認知症対応型共同生活介護			
	事業所番号	1	4	7	0	2	0	1	1	7	7
	事業所名	愛の家グループホーム横浜菅田									
	事業所所在地	(〒221-0864) 横浜市神奈川区菅田町 2975-75									
	担当者名	大河原 聡子									
	連絡先	電話	045-488-6280				FAX	0458-488-6281			

次のとおり、資料を添えて提出します。

外部評価実施方法 ※実施した方法に○を記入してください			外部評価機関による評価	○	運営推進会議における評価
外部評価受審結果表受理日又は 運営推進会議における評価実施日		2023 年 11 月 18 日			
添付書類 (チェック欄にレ)	チェック欄	✓	自己評価及び外部評価結果※(外部評価の緩和適用年度は自己評価のみ)		
		✓	目標達成計画 (毎年度提出が必要です)		
		✓	返信用封筒 (84 円切手を貼り、返信先を明記した長 3 封筒)		

※運営推進会議における評価の場合は、「自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール」を提出してください。

外部評価の緩和適用年度に提出する自己評価は神奈川県が定める様式を活用して提出してください。

(以下は記入しないでください。)

次のとおり、サービス評価結果報告書を受理しました。

報告書受理日	6 年 2 月 13 日			実施年度	5 年度	
受理内容	○	自己評価結果	○	外部評価結果	○	目標達成計画
次回実施期限	7 年 3 月 31 日					

<次回外部評価実施後、評価機関から受審結果表を受理した日から 1 か月以内に報告書を提出して下さい>

<この受理書は再発行しません。外部評価の緩和の適用を受ける際に必要なため、保管してください>

【発行】横浜市健康福祉局介護事業指導課 電話 045-671-3466 FAX045-550-3615

受付担当者:



横浜市収受印

6. 2. 13